



スマートアシスト

スマートアシストは、お客様の安全運転を前提としたシステムです。
システムに頼った運転は行わず、安全運転を心がけてください。

- 衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者[昼夜]）は、約4～120km/h（対歩行者の場合は、約4～60km/h）で走行中、ステレオカメラで前方車両^{※1}、歩行者^{※2}を認識して、衝突の危険性が高い場合に作動し、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行い、衝突を回避、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。電柱、壁などに対しても作動することがありますが、これらへの衝突を回避することを目的としていません。
※1 二輪車、自転車を含む ※2 昼間、夜間対応
- 車線逸脱警報機能／車線逸脱抑制機能は、ステレオカメラによって左右の白（黄）線を認識し、車速が約60km/h以上で、運転者が意図せず車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、ブザーとメーター内表示で運転者に注意を促し、短時間、小さな操舵力をハンドルに与えて、車線内に戻すようハンドル操作をアシストします。
- ブレーキ制御付誤発進抑制機能（前方・後方）は、ステレオカメラが前方約4m以内に障害物を認識している場合、ソナー（フロント・リヤ）が前方、または後方約2～3m先までの壁などの障害物を認識している場合、停車または徐行（約10km/h以下）状態で、ペダルの踏み間違いなどにより必要以上にアクセルが踏み込まれたとシステムが判断したときに、運転者への警報とエンジン出力の抑制に加え、ブレーキ制御を行うことで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。
- ADB（アダプティブドライビングビーム）は、約30km/h以上でハイビームで走行中、対向車を検知し操作することなく部分的に遮光します。
- スマートアシストの各機能は、ドライバーの状況や、認識状態、路面状態、気象等の条件によっては、システムが作動しない場合があります。
- 詳しくは販売会社にお問い合わせください。